

1 「といてみたい」「考えてみたい」～意欲を高める学習課題の提示

<テーマ> 問題提示を工夫し、児童の「解いてみたい」という意欲を引き出す取組(東松島市立大塩小学校)

【ねらいと特色】

「3つの数の減法の計算」では、2つの数の場合と同様に、3つの数の場合においても、減法を使って1つの式に表すことができることを理解させ、計算ができるようにすることがねらいである。しかし、児童にとって、3つの数が出てくる場面の状況を捉えて1つの式に表すことは困難だと考えられる。そこで、つかむ・見通すの場面で、問題場面を3つに区切り3枚の場面絵にし、時間の経過を意識させながら1枚ずつ児童に提示した。また、実際に児童に「バスごっこ」をさせて、順に減っていく状況を体験させてから、自力解決させるようにした。成果として、3枚の場面絵を1枚ずつ提示したり、実際に「バスごっこ」をさせたりしたことで問題場面をしっかりと把握し、意欲的に自力解決することができた。一方で、つかむ・見通すの場面に時間がかってしまったため、スムーズに学習を進める努力をしていきたい。

【実践の概要】

学習前

ねらい

学習後

2つの数の引き算はできる！
3つの数の足し算を、1つの式にすることができる。前から順に計算することが分かった。

言語活動の充実

3つの数の引き算も、1つの式にできる！
足し算と同じで、前から順に計算することができた！



○問題場面の提示
→3つの場面絵を1枚ずつ提示
T はじめに 9ひきのっています。
つぎに 1ひきおりました。
そのつぎに3ひきおりました。
ねこは、なんびきのっていますか。

○児童によるバスごっこ
C どんどん減っていくよ！
C 降りるから減るんだ。2回減っている。
C 1つの式にできそう！

○既習事項の揭示
C 昨日の3つの足し算の計算の仕方をもとにすれば、引き算も解決できそう！（類推的思考）

○3口の減法の意味理解を深める集団解決
→ブロック操作と図や言葉、式を関連させて話し合い。
C 計算の意味や仕方がよりよく分かった！
C 式のよさに気付いた！

○自分の考えの整理
→ブロック図や言葉、式などで、ワークシートに書く活動を取り入れ、多様な考えを引き出す。
(思考力・表現力が育つ)







